

令和5年度 社会教育委員 第2回定例会議の概要

1. 日時	令和5年7月14日(金) 15:30~17:10
2. 場所	千曲市戸倉体育館 会議室
3. 出席者	<p>【社会教育委員】9名出席（中島委員欠席）</p> <p>【北信教育事務所 生涯学習課】中澤俊喜課長 菅原勇介指導主事</p> <p>【市職員】小岩教育部長、宮坂生涯学習課長、高島生涯学習主幹兼係長 宮坂社会教育指導員</p>
4. 会議内容	<p>【委員会の進行状況】</p> <p>1. 開会（宮坂課長）</p> <p>2. あいさつ（小岩教育部長、中澤生涯学習課長）</p> <p>3. 協議事項</p> <p>(1)5月18日開催、北信地区社会教育委員連絡協議会総会・ 地区研修会について（高島主幹）</p> <p>・5名参加（社会教育委員4名、生涯学習課職員1名）</p> <p>(2)5月31日開催、CSに関わる地域・行政のためのスキルアップ研修会</p> <p>・2名参加（社会教育委員長 生涯学習課職員1名）（高島主幹）</p> <p>(3)6月14日開催、長野県社会教育委員連絡協議会定期総会について （高島主幹）</p> <p>(4)委員として取り組む独自課題等について</p> <p>・委員として関わったこと等について各委員より</p> <p>4. 北信教育事務所との意見交換（中澤俊喜課長 菅原勇介指導主事）</p> <p>5. 今後の予定等について（高島主幹）</p> <p>(1)北信地区「地域ぐるみの教育フォーラム」</p> <p>・10月21日(土) 長野市篠ノ井交流センター 13:00~16:20</p> <p>(2)長野県社会教育大会</p> <p>・9月14日(木) 県教総合育センター</p> <p>(3)次回、社会教育委員定例会議</p> <p>・10月13日(金) 市役所3階302会議室</p> <p>6. その他</p> <p>7. 閉会（宮坂課長）</p> <p>【主な協議内容】（進行：小林京子委員長） （○は社会教育委員、▲は事務局の発言）</p> <p>3－(1)(2)(3)に関すること</p> <p>▲ 高島主幹より説明。</p> <p>3－(4)に関すること</p> <p>○宮坂委員</p> <p style="padding-left: 2em;">埴生小学校・埴生中学校で運営委員を務めている。小学校の運動会を見て、はつらつと真面目に取り組む姿に感銘を受けた。今後も地元の小学生、中学生の成長に貢献できたらいいと思う。</p>

○児玉委員

コロナがおさまって、山歩きの依頼が来て忙しい。戸倉では久しぶりに400才野球を企画したが、人が集まらない。そこで、ポッチャを広められないか、と思っている。社会教育委員の代表として「子育て会議」に参加した。未満児の需要が多い。高学年児童を預けたくても預ける場所がないという実情がある。子ども食堂もあるが、食事なしで見守ってくれる団体等があればよい。

○堀口委員

地域活性化のために出前講座を用意してやっている。しかし、小中学校からの地域学習への依頼が少ない。子どもが地域を知ることが大事。教育の機会を拡大する努力をしてほしい。公民館も野球だけでなく、女性ができるようなスポーツを指導して地域対抗でやるなどしたらどうかと思う。

○飯島委員

コロナで3年間、人と交流することが抑えられていた。上山田小学校では、今年150周年ということで重点として「ふるさと学習」を行っている。夏休みには、育成会とのコラボで、お寺での体験を予定している。地域のみなさんから学ぶ機会をもっていきたい。

➡小林委員長より

お寺の体験学習は、社会教育委員も関わっていた取り組みで、泊りで本格的にやっていた。

○若林委員

補導委員と社会教育委員としてやらせてもらっている。出て歩くことが多く、勉強になるたくさんの人と触れ合え、得るものがある。

○山崎委員

上山田三本木地区で、地区人権学習を計画している。300軒にチラシを配ってやりたい。

○塚原委員

羽尾4区からの申し出で、お寺での体験を予定している。老人会と一緒に子どもの遊びをして、交流するものである。「さらしなルネッサンス」の役員として、「ムーン City」という冊子の作成にかかわった。講演会や小学校の出前授業を行っている。コロナで人の集まりが減った一方、人と集まりたい人もいる。

○小林いせ子副委員長

読書アドバイザーとして30年以上活動している。コロナの3年間で、読み聞かせなども減ってしまったが、やっと活動が始まっている。本を通して子どもたちと仲良くなれる。読み聞かせのボランティア活動を続けていきたい。図書館の電子書籍については気になっている。本は紙媒体で読むことで、しっかり考えられるもの。千曲市では2回、絵本のプレゼントをやっている。図書館でこの取り組みのPRをしてほしい。学校教育以外は社会教育ということなので、ちょっと声をかける、動くことでよいのではないかと思う。コミュニティースクールについては、セミナーに出ているが、毎回同じ

ような感じである。範囲の広いところで考えてほしい。

○小林京子委員長

ポッチャ協会を作って、国体のポッチャの後押しをしたい。いろいろなどころでこの競技を知ってもらえるようにしている。社会教育委員は個々に自分の得意分野を生かしながら、いろいろな所でできることをできるようにやっ
ていけばよいと思う。

4に関すること

<菅原指導主事>

社会教育委員は、地域住民の代弁者であり、頼れる存在である。社会教育委員として何をしたらよいか、ということについては、次のように考えたらよいのではないか。みなさんが社会教育委員になったのは、何かしらのことをしていたからであると思われる。だから社会教育委員になったから何かを始めるということ
でなく、今までの活動をちょっと見直すとか充実させて継続する、意見交換をし
てみようとする、そのようなスタンスでよいのではないか。

学校教育以外は、社会教育というとらえがあるが、学校教育に社会教育がかか
わらないということではない。

社会教育委員に期待されていることは、地域の意見を吸い上げて、社会教育
行政に反映させることである。みなさんひとりひとりが千曲市民の声の代弁者で
あると意識してもらえるとよい。

社会教育委員が独任制であることから、ひとりひとりに任されており、主体性
が担保されている。でも、意見交換はしてほしい。

研究調査をするということが大事。それぞれの取り組んでいる場でよい。それ
を伝えてほしい。地域課題に対し、意見を述べてほしい。社会教育委員は様々
な立場、考えの方で構成されているので創造的な話し合いができる。

千曲市はどういう市にしていきたいのか、重点施策が何かは、わかっていたほ
うがよい。たくさんの市民の方の声を吸い上げて、この場に届けて、豊かな地域
をつくってほしい。

○塚原委員・・・今日のお話は、社会教育委員になる前に聞けば、違う思いで
社会教育委員になれたと思う内容だった。

○小林京子委員長・・・いつも、もやもやしている思いがあるが、今日のお話を
聞いてみると、もう少し社会教委員としての活動ができると思
う。

○小林いせ子副委員長・・・図書館のことなどで、全員のチームワークでやるこ
とも社会教育委員の認知度が高まるのではないか。大きな市で
の社会教育委員の活動についても知りたい。千曲市は図書館で
読書活動にしっかり取り組んでいる市であると思う。

▲小岩部長・・・その通りである。ファーストブックがあるからセカンドブック
がある。図書館司書が本をセレクトしていることに意義がある
。

○小林京子委員長・・・かつての母親文庫が基にあるのではないか。それがなく
なってしまったので、母親が子どもに本を読むために今の取り

組みがある。

○堀口委員・・・総合的な学習で期待されていることは何か。各学校の先生がコミュニティースクールの研修会に出てほしい。総合的な学習をもっと掘り下げてほしい。

▲菅原主事・・・課題発見、主体的に学ぶ力、協働で学ぶ姿などである。総合的な学習の中身は学校や学級で独自に決めている。そこで、社会教育委員や地域の方が関わることは大事である。しかし、一方の思いが強すぎるのは気をつけてほしい。すり合わせが必要。

○若林委員・・・補導委員は「ちくま青パト隊」(愛称)になり、子どもたちから親しまれるようになった。

▲菅原主事・・・地域の方に親しみやすい愛称やイメージで伝えていくことは大事。